



2024年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年12月13日

上場会社名 株式会社オーエムツーネットワーク

上場取引所 東

コード番号 7614

URL <http://www.om2.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 児玉 光二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 森田 竜太郎

TEL 03 (5405) 9541

四半期報告書提出予定日 2023年12月14日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年1月期第3四半期の連結業績（2023年2月1日～2023年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年1月期第3四半期	23,532	2.2	1,284	43.8	1,311	41.9	919	51.7
2023年1月期第3四半期	23,017	7.4	892	35.1	923	14.4	606	△12.1

(注) 包括利益 2024年1月期第3四半期 857百万円 (41.3%) 2023年1月期第3四半期 606百万円 (△16.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年1月期第3四半期	136.61	—
2023年1月期第3四半期	90.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年1月期第3四半期	19,770	16,057	81.2	2,385.86
2023年1月期	19,180	15,361	80.1	2,282.52

(参考) 自己資本 2024年1月期第3四半期 16,057百万円 2023年1月期 15,361百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年1月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2024年1月期	—	0.00	—		
2024年1月期（予想）				24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年1月期の連結業績予想（2023年2月1日～2024年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,800	0.8	1,800	20.0	1,850	22.8	1,200	35.3	178.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年1月期3Q	7,335,634株	2023年1月期	7,335,634株
② 期末自己株式数	2024年1月期3Q	605,419株	2023年1月期	605,419株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年1月期3Q	6,730,215株	2023年1月期3Q	6,730,215株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、2023年5月に新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に分類移行されたことなどにより、経済活動の正常化が進み、人流の回復やインバウンド需要の回復により、景気が緩やかに持ち直しました。一方、ウクライナ情勢長期化によるエネルギー価格の高止まりや物価上昇、金融資本市場の変動等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループ中核事業の属する食品小売業界におきましては、取り扱う商品が国民の毎日の生活にとって欠かせない必需品であるものの、行動制限の緩和による家庭需要の縮小や、依然として続く労働力不足や人件費の上昇、また原料相場の高騰、物流費の増加等により、依然として不透明な状況が続いております。

このような中で当社グループは、売上増大のための販売促進活動に全社一丸となって取り組むとともに、お客様満足度の向上や安心・安全な商品を提供できる体制強化、品質管理の徹底などの諸施策の実施に努めてまいりました。食肉等の小売業においては、新規ディベロッパーとの取組みを含めた出店や改装店の立ち上げ、また既存店の活性化を図るためのイベント型提案販売やレイアウトの再構築等を実施してまいりました。

外食業にあつては、行動制限の緩和により回復基調がみられ、インバウンドや大型のパーティー需要も寄与しているものの、原材料費やエネルギー価格の上昇を受け、メニュー改定を実施するなどの施策を行っており、今後も当事業を取り巻く環境は、厳しい状態が続くものと想定しています。今後もお客様に安全に安心してご利用いただけるよう日々の店舗運営維持に努めてまいります。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は235億32百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益は12億84百万円（同43.8%増）、経常利益は13億11百万円（同41.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億19百万円（同51.7%増）となりました。

営業の概況をセグメント別に記述すると以下の通りであります。

「食肉等の小売業」

当第3四半期連結累計期間の開店は3店、閉店は6店であり、その結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は143店になりました。内訳は食肉小売店132店（前期末比3店減少）、惣菜小売店11店であります。当セグメントを取り巻く環境は上記記載の通りで、売上高は175億66百万円（前年同期比3.5%減）営業利益は10億80百万円（同3.3%増）となりました。尚、本事業を管轄する子会社2社の当第3四半期連結累計期間は以下となっております。

(株)オーエムツーミート 2023年2月1日～2023年10月31日
(株)マルチョウ神戸屋 2022年11月1日～2023年7月31日

「外食業」

当第3四半期連結累計期間の閉店は1店であり、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は39店になりました。当セグメントを取り巻く環境は、上述の通り、新型コロナウイルス問題の影響が回復傾向となり、インバウンドや大型のパーティー需要も寄与し、売上高は59億66百万円（前年同期比23.9%増）、営業利益は4億26百万円（前年同期は営業利益33百万円）となりました。尚、本事業を管轄する子会社2社の当第3四半期連結累計期間は以下となっております。

(株)オーエムツードイニング(ステーキレストラン事業) 2022年12月1日～2023年8月31日
(株)焼肉の牛太(焼肉・しゃぶしゃぶ事業) 2023年1月1日～2023年9月30日

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の主要勘定の金額及びその前連結会計年度末比は以下の通りであり、大きな変動はありません。

流動資産	144億2百万円（前期末比+5.2%）
固定資産	53億68百万円（同△2.2%）
総資産	197億70百万円（同+3.1%）
流動負債	32億68百万円（同+0.3%）
固定負債	4億45百万円（同△20.5%）
純資産	160億57百万円（同+4.5%）
負債・純資産合計	197億70百万円（同+3.1%）

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年1月期の通期連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2023年3月14日に公表いたしました業績予想を変更しております。

詳細につきましては、本日公表いたしました「2024年1月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,051,823	6,823,102
売掛金	403,538	374,714
テナント未収入金	1,419,934	1,341,977
商品及び製品	502,207	528,511
原材料及び貯蔵品	43,505	41,614
未収入金	167,379	197,559
関係会社預け金	—	5,000,000
その他	104,008	96,254
貸倒引当金	△1,420	△1,502
流動資産合計	13,690,977	14,402,232
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,894,533	3,941,914
減価償却累計額	△2,426,507	△2,480,979
建物及び構築物(純額)	1,468,026	1,460,935
機械装置及び運搬具	492,438	506,668
減価償却累計額	△355,845	△371,583
機械装置及び運搬具(純額)	136,592	135,085
土地	582,212	582,212
その他	2,090,022	2,168,317
減価償却累計額	△1,775,940	△1,826,246
その他(純額)	314,082	342,071
減損損失累計額	△937,300	△926,075
有形固定資産合計	1,563,613	1,594,229
無形固定資産		
のれん	197,181	151,677
その他	82,045	75,526
無形固定資産合計	279,226	227,204
投資その他の資産		
投資有価証券	2,338,339	2,209,413
長期貸付金	25,423	17,224
繰延税金資産	127,112	149,072
退職給付に係る資産	180,498	199,198
敷金及び保証金	941,379	930,099
その他	34,246	42,255
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	3,646,991	3,547,255
固定資産合計	5,489,831	5,368,689
資産合計	19,180,809	19,770,922

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,726,906	1,844,826
1年内返済予定の長期借入金	136,124	81,412
未払金	367,858	363,624
未払法人税等	325,163	176,690
賞与引当金	86,087	180,019
その他	616,807	621,854
流動負債合計	3,258,948	3,268,427
固定負債		
長期借入金	54,558	2,792
役員退職慰労引当金	61,264	36,547
退職給付に係る負債	54,802	60,126
資産除去債務	316,684	289,819
その他	72,706	55,833
固定負債合計	560,016	445,118
負債合計	3,818,964	3,713,546
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,700	466,700
資本剰余金	1,391,999	1,391,999
利益剰余金	13,943,593	14,701,509
自己株式	△597,619	△597,619
株主資本合計	15,204,673	15,962,589
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	136,172	94,118
退職給付に係る調整累計額	20,998	667
その他の包括利益累計額合計	157,171	94,786
純資産合計	15,361,845	16,057,375
負債純資産合計	19,180,809	19,770,922

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)
売上高	23,017,737	23,532,492
売上原価	14,250,082	14,232,922
売上総利益	8,767,654	9,299,570
販売費及び一般管理費	7,874,660	8,015,412
営業利益	892,994	1,284,157
営業外収益		
受取利息	2,947	10,775
受取配当金	1,937	581
家賃収入	3,154	3,668
協賛金収入	25,170	24,486
受取手数料	688	722
その他	13,505	8,790
営業外収益合計	47,403	49,024
営業外費用		
支払利息	392	271
不動産賃貸原価	217	—
持分法による投資損失	13,602	21,255
その他	2,323	651
営業外費用合計	16,535	22,178
経常利益	923,862	1,311,003
特別利益		
有形固定資産売却益	1,088	209
投資有価証券売却益	—	118,219
補助金収入	171,496	459
特別利益合計	172,584	118,887
特別損失		
有形固定資産売却損	—	155
有形固定資産除却損	5,252	2,724
減損損失	75,662	21,917
店舗閉鎖損失	1,958	1,201
店舗休止等損失	39,201	—
特別損失合計	122,074	25,998
税金等調整前四半期純利益	974,372	1,403,893
法人税、住民税及び事業税	403,251	484,179
法人税等調整額	△34,947	272
法人税等合計	368,304	484,452
四半期純利益	606,068	919,440
親会社株主に帰属する四半期純利益	606,068	919,440

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)
四半期純利益	606,068	919,440
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△770	△80,469
退職給付に係る調整額	△1,807	△1,943
持分法適用会社に対する持分相当額	2,838	20,027
その他の包括利益合計	261	△62,385
四半期包括利益	606,329	857,055
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	606,329	857,055

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年2月1日 至2022年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	外食業	合計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	18,203,316	4,814,420	23,017,737	—	23,017,737
外部顧客への売上高	18,203,316	4,814,420	23,017,737	—	23,017,737
セグメント間の内部売上高又は 振替高	4,050	41,365	45,415	△45,415	—
計	18,207,366	4,855,786	23,063,153	△45,415	23,017,737
セグメント利益又は損失(△)	1,046,473	33,658	1,080,131	△187,137	892,994

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△187,137千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」及び「外食業」において、損益又はキャッシュ・フローが継続的にマイナスとなっている店舗及び閉鎖を決定した店舗の店舗設備の一部資産について、減損損失を認識しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において「食肉等の小売業」65,259千円、「外食業」10,402千円です。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年2月1日 至2023年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	外食業	合計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	17,566,052	5,966,439	23,532,492	—	23,532,492
外部顧客への売上高	17,566,052	5,966,439	23,532,492	—	23,532,492
セグメント間の内部売上高又は 振替高	39,378	37,470	76,848	△76,848	—
計	17,605,430	6,003,910	23,609,340	△76,848	23,532,492
セグメント利益	1,080,636	426,310	1,506,946	△222,789	1,284,157

(注) 1. セグメント利益の調整額△222,789千円は、セグメント間取引消去△35,328千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△187,461千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」及び「外食業」において、損益又はキャッシュ・フローが継続的にマイナスとなっている店舗及び閉鎖を決定した店舗の店舗設備の一部資産について、減損損失を認識しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において「食肉等の小売業」9,030千円、「外食業」12,887千円です。

(重要な後発事象)

(連結子会社による事業譲受)

当社連結子会社である株式会社焼肉の牛太は、2023年9月19日開催の取締役会において、株式会社高倉商店の保有する飲食事業の譲受を決議し、2023年12月2日付で事業譲渡契約を締結いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 事業譲受の目的

当社子会社の焼肉の牛太と事業領域が同一であり、当社グループの外食事業の事業規模拡大、付加価値向上に寄与するものと判断したことから本件事業譲渡契約の締結を決議いたしました。

(2) 相手先企業の名称及び事業内容

相手先の名称 株式会社高倉商店

事業の内容 飲食事業和風レストランステーキ千寿

(3) 事業譲受日

2023年12月20日(予定)

2. 企業結合により受け入れた資産の額並びにその主な内訳

現時点で算定中であります。